入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

本学の教育の理想は、すぐれた知性、清純な気品、実践への意欲という「知・情・意」を兼ね備えた教養豊かな現代女性を養成することにあります。このような教育理想や学位授与の方針に照らして、本学では次のような人物を求めています。

(1) 建学の精神および教育理想を十分に理解している人。
(2) 教養を涵養するために必要な基礎的学力を身につけている人。
(3) 高等学校等における様々な活動を通してコミュニケーション力を備えている人。

さらに、各学科において次のような人物を求めています。

［教養学科］
① 知的な好奇心を持ち、意欲的に勉学に取り組む人。
② 豊かな情操と思考力を身につけたいと考えている人。
③ 地域や現代世界に関心を持ち、社会のために貢献したいと考えている人。

［英文学科］
① 英語によるコミュニケーション能力を高めたいと考えている人。
② 英語圏を中心とする異文化理解を通して、幅広い教養と豊かな人間性を身につけたいと考えている人。
③ 国際的な視野を持ち、社会のために貢献したいと考えている人。

［経済学科］
① 世界や日本の経済・社会問題に関心を持ち、勉学への強い意欲を持っている人。
② みずから問題を発見し、みずから解決する力や思考力を身につけたいと考えている人。
③ 職業人として役立つ知識や技能を身につけ、自立した女性として、社会のために貢献したいと考えている人。

なお、本学では、アドミッション・ポリシーに合致した学生を受け入れるため、また受験機会の複数化を確保するために多様な入学者選抜を行い、一般選抜（前期日程・後期日程）、総合型選抜、大学入学共通テスト利用選抜、学校推薦型（指定校制）選抜、社会人特別選抜、海外帰国生徒特別選抜を実施しています。

これらの入学者選抜方法では個別学力試験、大学入学共通テスト、小論文、面接、調査書、志望理由書の評価を適切に行い、本学で教育を受けるために必要な能力・資質・適性を判定します。

1.　一般選抜

一般選抜は、教育理想・各学科の目的に基づき試験教科・科目・配点を設定しています。
高等学校等における教科書を中心とした基礎的な学習の達成度を問い、筆記試験（記述式）により本学で学ぶために必要な学力「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を判定するための問題を独自に作成し、基礎的な学力を有する受験生を選抜するために実施しています。

2.　総合型選抜

総合型選抜は、本学で学ぶにふさわしい知識・技能、柔軟な思考力・判断力・表現力を有しているだけでなく、横断的・総合的な学習や探求的な学習を通して、自ら課題を発見し、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を持ち、多様な人々と協働して学ぶ態度を身につけた受験生を求める選抜です。

提出書類により、高等学校における学習の成果を総合的に評価したうえで、学習報告書作成試験によって「主体性・多様性・協働性」の評価を行うとともに、面接試験ではプレゼンテーションや質疑応答により、本学で学ぶ目的と意欲並びに適正を審査します。

3.　大学入学共通テスト利用選抜

大学入学共通テストを利用する選抜試験は、一般選抜とは異なるタイプの受験生を受け入れるための選抜制度です。大学入学共通テストで実施している教科・科目の筆記試験をもとに、本学で学ぶために必要な広範囲にわたる基礎学力を「知識・技能」を中心に判定を行い、個別学力試験を課さずに大学入学共通テストの得点のみで合否判定を行います。

4.　学校推薦型（指定校制）選抜

学校推薦型（指定校制）選抜は、高等学校等における学習や様々な活動（生徒会活動、クラブ活動、社会活動、ボランティア活動、その他の評価すべき活動など）に意欲的に取り組んだ受験生を求める選抜です。

出願にあたっては、高等学校又は中等教育学校における成績基準（学習成績の状況）が、本学の指定する基準を超えていることが必要です。合否判定においては、学力試験は行わず、小論文、面接、志望理由書、推薦書、調査書を総合して判定を行います。小論文では論理的思考力、表現力、社会問題に対する関心の程度などをみます。面接と志望理由書では高等学校等で培った「主体性・多様性・協働性」や本学で学ぶ目的と意欲を審査します。

5.　社会人特別選抜

社会人特別選抜は、高等学校等を卒業後に一定の期間、社会人経験を有する人で、大学で学びたい、学び直したいという確固たる志望理由を持ち、大学教育に耐え得る基礎学力を持つ人のための特別選抜です。合否判定においては、社会人の置かれている状況を考慮して学力試験は行わず、面接、志望理由書で選抜します。英文学科受験生には 200～300 語程度の英語による記述課題を与え、基礎的能力や主題の理解力をみます。面接と志望理由書では社会人経験で培った「主体性・多様性・協働性」や本学で学ぶ目的と意欲並びに適性を審査します。

6.　海外帰国生徒特別選抜

海外帰国生徒特別選抜は、帰国生徒の海外での経験を評価して受け入れます。諸外国で勉強してきた帰国生徒が海外での貴重な経験と知識を生かし、学内での相互交流を通して学識や人 間性をより一層高めて成長していくことを期待しています。合否判定においては、英語の筆記試験、作文、面接、志望理由書で選抜します。

英語の筆記試験（記述式）では英語、日本語に関する「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」の評価を行います。作文では論理的思考力、表現力、社会問題に対する関心の程度などをみます。面接と志望理由書では海外での経験において培った「主体性・多様性・協働性」や本学で学ぶ目的と意欲並びに適性を審査します。